

HONBE CLUB (美容院)

①



国土10号線から県道40号線に入って視認性の高い場所にある。お洒落な外観が顧客の関心を喚起させる。また、店舗内装も美しくブランドの世界観を体現している。「HONBE CLUB」は県道沿いにあり、顧客の目に付きやすく来店数も多い。都農町の景観に沿った落ち着いたデザインが施されていて、町並みと美容室がマッチしている。 大崎雅也

みんなのアトリエ KALPA

②



アトリエについて

さをり織の体験講座が行われている。都農外からのお客さんが多く地域にどう貢献するのが課題とのこと。ウール、カシミヤ、綿など多様な意匠を保管している。山梨や茨城からの訪問も。

さをり織とは

大阪の堺で城みさをさんにより発案された技法。自分自身で糸を選び織るので既成概念にとらわれない自分らしい作品を作ることができる。個人個人で個性が異なるため自分にしか出せない色合いになる。

アトリエの方に伺ったこと

自身が小学校の教師をしていた経験から、学校の授業などでさをり織を体験できるようにしたいと仰っていた。子ども食堂のような取り組みを「やりすぎずに」という目標も掲げられていた。都農でも高齢化が進み高齢者に向けた食事の提供などに課題を感じていた。施設に入るのではなく、自立した老後を過ごしたいとも仰っていた。キャベツの栽培、出荷もされている。

アトリエの方の母

病気の療養のため延岡から引越してきたとのことわざわざ娘さんを呼んでお話をさせてくれる優しい方でした。

河野光希

③



開拓記念の石碑

三日月原開拓記念の石碑で県道40号線に沿った場所にあった。かなり前に建てられたものだと考えられる。敷地内には三日月原自治会の防災倉庫があった。また、公民館らしき建物もあった。

寺原小晴



⑤



⑥



バス停

神社と飲食店が向かいにあったが、利用者がすることもなく、バスが道を通ることもなかった。

付近の住民は車を所有しており、バスの利用者が少ないことから、バスの本数も少ないのではないかと。

都農町では、通学路線及び生活路線の確保のために町内を巡回するコミュニティバス(地域福祉バス)が運行されている。つのびょんや特産物などのデザインを施したラッピングバス3台体制で巡回しており、1人1回あたり200円で乗れる。

肥田木梨央

⑦

ヤマザキショップ



参考文献

【2024】三日月原神社 児湯郡のお祭り(例祭)を紹介!児湯の里に響く、三日月の神楽 10月1来たHUB 観光 イベント 祭り お得情報 コミュニティバス(地域福祉バス)の運行について(※各路線マップを新しくしました) | 都農ページ(都農町公式ホームページ)

県道40号線に沿ってあるため通行する車の目に入りやすい立地であった。親しみやすい雰囲気、定期的に出入りがしていた。ヤマザキショップというチェーンストアながらも個人経営のお店のよう雰囲気、地域になじんでいた。お酒などの日用品もおかれているため住民も利用しやすい。店員さんも優しい方で、快くインタビューにも答えてくださった。やはり地元でも都農ワインは有名だそう。

暑い中の調査だったので私たちはかき氷を注文した。通常のものに比べてとても大きく、暑さをしのぐことができた。価格もお手頃で、味の種類も豊富であり一度は寄るべきおすすスポットである。

寺原小晴 河野光希

④

秋葉神社 (三日月原神社境内)



三日月原神社



都農南小学校の西約800メートルに鎮座している神社。社殿左側には境内社である秋葉神社も祀られている。平安時代初期に創建されたといわれており、江戸時代には都農藩の崇敬を受ける。三日月原神社のご利益は五穀豊穡、無病息災、厄除け、家内安全などであり、天照大神、月読命、素戔鳴尊の三柱の神様が祀られている。

開放的で明るい境内に、拝殿が立ち、そのうしろに本殿がある。境内には、秋葉神社もあった。何らかの形で都農神社と関係があるのではないかと考えた。 肥田木梨央 寺原小晴

⑧

ドッグスクールYURI

ドッグスクールYURIはドッグランなどとは異なり、ドッグスクールとして医務のしつけやアジリティーレッスン、出張訓練などを行っている。2022年に作られた。

犬のアジリティーレッスンとは犬が障害物をクリアしながらタイムを競うドッグスポーツのレッスンのことである。

上級者がおこなうスポーツのイメージがあるが、実際は初心者から上級者まで幅広く楽しませている。アジリティーレッスンを行うことで愛犬とのコミュニケーションを楽しみながら身体能力、思考力を高めることができる。

レッスンの目的は協議会への挑戦だけでなく、愛犬との絆を深めるためにも役立つ。



感想

たくさんの方にインタビューができたわけではないが、都農町について、下調べよりも深く知ることができた。のどかな雰囲気の中で自然と人の温かさに触れたので、とても良い経験になった。都農町は、町の景観のために町内全体が協力しているように感じた。建物の色がカラフルでなく、景観に合わされていて感動した。フィールドワークに行く前は、都農町は田舎で落ち着いた場所だと思っていたが、実際に訪れてみると出会う住民が都農町の活性化のために、そして住民に貢献するために全力を尽くしている姿が伺えた。インタビューさせていただいた方も地域貢献のために自治体と協力を試みようとしていた。実際にぶどう畑やキャベツ畑をみると農家さんの偉大さを実感できた。お伺いしたお店や住民の方もとても明るく、穏やかで優しく心温まる対応に感銘を受けた。

最も印象に残ったことは、ぶどう畑が至るところにあり都農町が丸となり都農ワインナーを支えている様相があったことだ。小さい町でも世界に通用する取り組みを肌で実感してまちづくりに可能性を感じることができた。

今回のフィールドワークを通して、都農町の地域資源を実際に拝見でき、課題や地域活性化への可能性を感じた。さらに地域の人と協働してまちづくりをしていきたいと思った。宮崎大学や高校・地域・行政が一体となりまちづくりしている地域だと思った。地域の方が地域貢献に積極的な都農町は住民や気候、風土があるからこそ成り立っているのだと感じた。

大崎雅也